

学校だより



横浜市立つづきの丘小学校

つづきの空

11月号

令和5年10月31日

高めよう学び 広げようつながり 輝こう未来へ つづきの丘の子

## 「つづピョランチルーム」オープン！

校長 田淵 恵子

休み時間になると、可愛い訪問者が校長室を訪れます。今回は、転校する友達のお別れ会をするらしく、プログラムや出し物の原稿を書いています。なぜ校長室で準備をするのか尋ねてみると、その友達に見つからないようにするために都合のいい場所だということです。名誉なことかは別として、友達の喜び姿を思い浮かべながら、心を込めて準備をすることができる思いやりいっぱいの子つづきの丘の子どもたちです。深まりゆく秋、学校には今日も穏やかな優しい時間が流れています。



後期初日の10月10日、学校便りでも以前お伝えしていた通り、食育環境の充実を目指して準備していた『つづピョランチルーム』がオープンしました。当日のオープニングセレモニーでは、給食委員会が作成したランチルーム **<学校栄養職員の食育指導>**の使い方を伝える動画を放送し、みんなで大切に使いことうのメッセージを届けました。オープンの最初の週は、6年生がクラス毎に使用しました。新しい場所ということもあり、子どもたちは、期待とともに戸惑いの表情を浮かべながら給食の準備をしました。そして、学校栄養職員からの食に関する話を聞きながら、会食を楽しみました。対面での会食形式は久しぶりの子どもたちでしたが、各テーブルでは楽しいおしゃべりや笑顔に溢れていました。「友達と顔をみながら食べるのが楽しい。」「別の学校に来たみたい。」と嬉しそうに感想を述べ、「いいね！」のサインを見せてくれました。

先週は5年生、今週は4年生と、学年毎に利用していきます。他学年からは、「いいなあ。」「早くランチルームで食べたいなあ。」と楽しみにしている声が聞かれ、興味をもっている様子が見えます。ランチルームで食べることをきっかけに、子どもたちが食への関心を高め、望ましい食習慣を身に付けるとともに、健康作りに主体的に取り組む態度を養っていきたいと考えます。また、食事中の会話や準備を通してコミュニケーションが生まれ、社会性や人間性が育まれることも期待しています。「質の高い教育」の一環として、学力と体力の基盤となる食育指導を学校全体で進めていきます。

### ふるさと納税とベルマークで購入



<パーティション>

今回のランチルーム設置にあたっては、保護者や地域の皆様にもご協力をいただきました。給食室ホールにランチルームの場所を作るためのパーティションは、本校への**横浜市ふるさと納税（教育活動の充実）**をしてくださった地域の方の寄附と、保護者と地域の皆様が集めてくださった**ベルマーク**で購入させていただきました。また、花咲かせ隊ボランティアの皆様が学校で育てた花の押し花を利用して、子どもたちと素敵な飾りを作り、室内を装飾してくれました。皆様の温かい真心に、心より感謝申し上げます。



<飾り作り>

創立25周年目の節目にあたり、子どもたちの笑顔のため、保護者や地域の皆様と学校が協働してランチルームを新設できたことに喜びを感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も、「質の高い教育」を様々な教育活動の中で提供できるよう取り組んでいきます。引き続き、よろしくお願いいたします。